

報道関係者 各位



名古屋港水族館

(公財) 名古屋みなと振興財団

季節展示「干支展」 「ウマ面(づら)な魚」を展示します

名古屋港水族館（管理運営：公益財団法人名古屋みなと振興財団）では、令和 8 年の干支である「午（ウマ）」にちなんで、「ウマヅラハギ」を展示します。

1 期 間 令和 7 年 12 月 16 日（火）～令和 8 年 1 月 12 日（月・祝）

2 場 所 南館 2 階 日本の海

3 展示生物 ウマヅラハギ

ウマヅラハギ（馬面剥）はその名のとおり顔が長く、馬のように見えるのが特徴です。小さな口を使って砂底に水を吹きつけ、カニやゴカイの仲間を探して食べますが、クラゲを食べる魚としても知られています。過去に日本海にてエチゼンクラゲが大発生した際には、ウマヅラハギも大量発生しました。また、伝統的に行われているウマヅラハギのカゴ漁は、餌としてクラゲを用いています。



顔が長く、馬のように見えるのが特徴の「ウマヅラハギ」

◆問い合わせ◆

(公財)名古屋みなと振興財団(名古屋港水族館)

(ホームページ:<https://nagoyaqua.jp>)

事業部営業企画課 岡本・佐藤 TEL 052-654-7134(直通)

メールアドレス:kikaku@nagoyaminato.or.jp